

バイオサイエンス学科 論文発表

【発表者について】 アンダーラインは本学教員および研究員、※は大学院生、卒研生または卒業生

題名	植物の接ぎ木接着に関わる植物ホルモンの分子機構 (Molecular mechanism of phytohormone involved in the graft union.)
掲載雑誌	アグリバイオ vol2(11), 2018
著者	朝比奈雅志【植物生理学研究室、(兼)先端機器分析センター】
概要	シロイヌナズナ切断花茎の癒合は、植物ホルモンによって制御される2種類の転写因子が関与していると考えられている。我々は、シロイヌナズナ芽生えの胚軸間接ぎ木実験を行い、この過程では、オーキシンによって誘導されるANAC071,ANAC096転写因子が冗長的に働いて、維管束組織の細胞分裂を促進すること、オーキシンがジベレリンの合成を促すことで皮層の細胞成長を制御していることを明らかとした。一方、ジャスモン酸とRAP2.6L転写因子は傷害や接ぎ木の過程で誘導されるが、細胞増殖には直接関与していないことも明らかとした。